

## 観光ボランティアのユニフォームについて

### 観光ボランティア

#### ○趣旨

東京を訪れる外国人旅行者の多様なニーズに対し観光案内等のサービスを提供し東京の魅力を伝える。

#### ○活動内容

- ・都庁・展望室案内ツアー
- ・都内の人気観光スポットをめぐる13コースの案内
- ・国際会議及びイベント等への派遣
- ・街なか観光案内

#### ○登録者数

3,022名（平成30年4月時点）

#### 「街なか観光案内」の実施場所（6地域）

新宿・大久保／銀座／浅草／上野／渋谷／臨海副都心（今後拡大予定）

### ユニフォームデザインについて

海外発信に向けたアイコンとキャッチフレーズ「Tokyo Tokyo Old meets New」を活かし、東京の持つ「伝統」と「革新」を表現。

**Tokyo Tokyo** Old meets New

#### 市松模様で「伝統」を表現

日本の伝統的な模様である「市松模様」でユニフォームを統一。

「Tokyo Tokyo」にも使われている、未来へ広がる青い空をイメージしたブルーを使用し、「Tokyo Tokyo」との一体性を確保。

#### QRコードで「革新」を表現

背中に配置された「QRコード」のワッペンが革新を象徴的に表現。リンク先は東京の観光情報公式サイト「GO TOKYO」の英語ページ (<https://www.gotokyo.org/en/>) で、機能とデザインを兼ね備えている。

- ・観光ボランティアと一目でわかるよう、インフォメーションマークを胸や帽子、バッグにつけ、背中には「VOLUNTEER GUIDE」と大きく表示。
- ・品質の高い日本製で、軽くて動きやすく、季節を通じて統一感があり、性別・年代を問わず着用していただけるデザイン。

## 各アイテムの特色

### ポロシャツ (30年3月から着用開始)



- ・吸水性、速乾性に優れ、活動時の着心地の良さに加えて、洗濯などのお手入れも簡単。
- ・環境に配慮したバイオナイロン素材のボタンを使用。
- ・生産数：3,000着

### ブルゾン (29年10月から着用開始)



- ・撥水加工と立体的なフードで雨風を防ぐ機能的デザイン。
- ・環境に配慮した、植物度約30%のポリエステルナイロンを使用。
- ・生産数：3,000着

### 防寒コート (29年12月から着用開始)



- ・収納可能なフード付き。撥水加工。
- ・中綿と手元に入ったリブ、首元までの襟により、防寒性に優れている。
- ・春秋用と同様の、環境に配慮した素材を使用。
- ・生産数：380着

### 帽子・バッグ (29年10月から着用開始)



- ・通気性の高いメッシュ素材の帽子は、小さく折りたたんでバッグ等に収納でき、家庭での洗濯も可能。
- ・大容量のバッグはパンフレット等の持ち物をすっきり収納。長さを調整できる肩当て付きのショルダーベルトを採用。
- ・生産数：(帽子) 3,000個 (バッグ) 190個

# 街なか観光案内における実績・活動風景

## 主な実績（平成29年度）

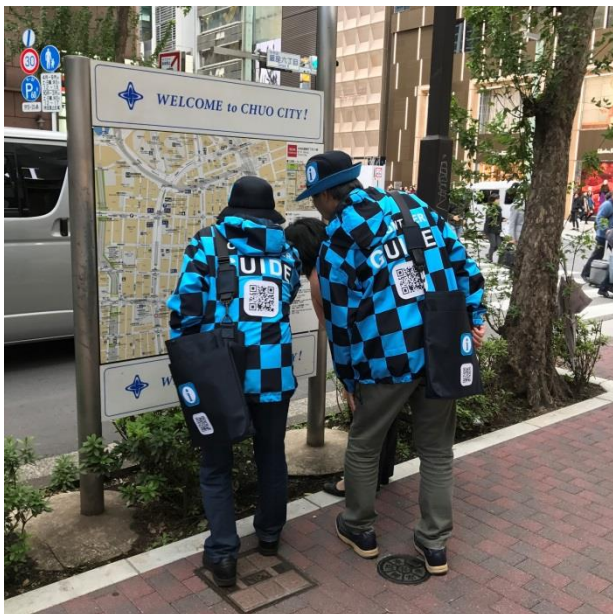
対応件数 126,102件（6地域で展開）

## 活動風景

（ポロシャツ・新宿）



（ブルゾン・銀座）



（防寒コート・上野）



## 新たなユニフォームに対するボランティアからの意見について

### (旅行者からの反応について)

- ・目立って活動しやすい
- ・新ユニフォームになって、問い合わせが増えたように感じる
- ・初めて声を掛けられ、案内できた。嬉しかった
- ・ユニフォームが活動に有効だった。「写真撮っていいですか」など声掛けがあった
- ・特定の方を案内する活動については逆に目立ち過ぎてしまう

### (着心地について)

- ・生地がしっかりしている
- ・汚れをはじきやすい
- ・大きめでゆったり、腰が隠れて安心
- ・小さくたたためて荷物にならない
- ・洗っても縮まなくてよい

## 今後の予定

○街なかで行う観光案内について  
⇒さらに**2地域**を追加予定

○**SNS、インフルエンサー**を活用した**PR**の展開

○ラグビーワールドカップ2019大会ボランティアとの連携  
⇒観光ボランティアから希望者を募り、東京会場で活動する  
**大会ボランティア**として推薦を実施

○東京2020大会都市ボランティアとの連携  
⇒観光ボランティアは、本年9月から募集予定の**都市ボランティア**  
において、**中核としての活動**を期待